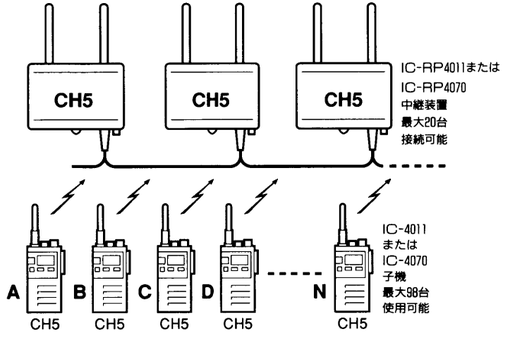
特定小電力局のシステム化

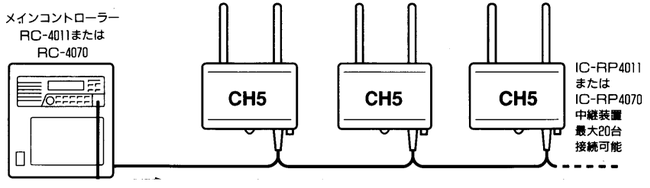
特定小電力局のシステム化は、IC-RP4011（またはIC-RP4070）を中継装置とし、子機にIC-4011（またはIC-4070）を使用します。
中継装置とは、工場やビルなどの中で、障害物による電波の不感地域を解消するための装置です。
下図のように、中継装置を何段か連結する（中継装置間ケーブル長500m以下）ことにより、最大総延長を2kmまで離して設置できますので、広域エリアでの通信を可能にします。
拡大された通信エリア内の子機間で一斉呼び出し、または個別呼び出しができます。さらに、メインコントローラーのRC-4011（またはRC-4070）を中継装置に接続すると、子機同志で行われている通話を常時モニターでき、優先的にその通話へ割り込み、通話中の子機のすべてに通達を行うことができます。

■システムの構成例

①IC-RP4011とIC-4011（またはIC-RP4070とIC-4070）
最大98台の子機（IC-4011またはIC-4070）を使用できます。



②IC-RP4011、IC-4011およびRC-4011（またはIC-RP4070、IC-4070およびRC-4070）
最大98台の子機（IC-4011またはIC-4070）とメインコントローラー（RC-4011またはRC-4070）を1台使用できます。



RC-4011/4070 のおもな定格

低周波出力	0.8W（8Ω負荷 10%歪時）
ライン入出力インピーダンス	5kΩ
ライン入出力電圧	DC2.4V
電源電圧	AC100V±10%（専用ACアダプター/AD-30使用）
消費電流	DC9V 500mA以下
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
外形寸法	高さ208×幅180×奥行210mm（突起物および固定金具は除く）
重量	約3kg

IC-RP4011/RP4070 のおもな定格

周波数範囲	IC-4011 受信：440.2625MHz〜440.3625MHz 送信：421.8125MHz〜421.9125MHz （12.5kHz間隔の9対波） IC-4070 受信：440.0250MHz〜440.2375MHz 送信：421.5750MHz〜421.7875MHz （12.5kHz間隔の18対波）
チャンネル数	上記周波数のうちより1対波を契約時に決定する
通信方式	半複信方式
電波型式	F3E
電源電圧	AC100V±15%（専用ACアダプター/AD-30使用）
消費電流	DC9V 450mA以下
使用温度範囲	−10℃〜+50℃
外形寸法	高さ150×幅208×奥行41mm（突起物および固定金具は除く）
重量	約900g（固定金具は除く）
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	−4dBμ（EMF）以下（12dB SINAD）
空中線電力	10mW（+20%〜−50%）
発振方式	水晶発振制御によるシンセサイザー方式
周波数安定度	±4×10^{-6}以内
変調方式	周波数変調（直接変調）方式
スプリアス発射強度	2.5μW以下
隣接チャンネル漏えい電力比	40dB以上
最大周波数偏移または偏位	±2.5kHz以下

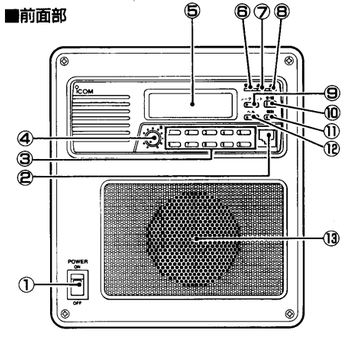
ICOM 取扱説明書

メインコントローラー
RC−4011
RC−4070
レピータ（中継）装置
IC−RP4011
IC−RP4070

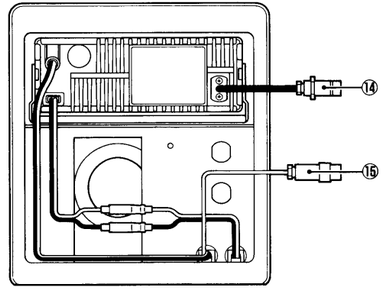
このたびは、アイコムの製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、「技術基準適合証明を受けた特定小電力無線局に適合する中継装置」と「特定小電力無線局システムのコントローラー」です。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
本取扱説明書はレジャー系周波数帯のRC-4011/IC-RP4011と、業務系周波数帯のRC-4070/IC-RP4070を併記していますのでご注意ください。

RC-4011/4070 の名称と機能

■前面部



■後面部



①POWER（電源）スイッチ
本機の電源を“ON／OFF”するスイッチです。

②マイクロホンコネクター
付属マイクロホン SM-21を接続するコネクターです。

③テンキー（0〜9）

⑥受信表示LED（緑）
受信（点灯）または待ち受け中（消灯）を表示するLEDです。

⑦通話表示LED（黄）
通話中（点灯）を表示するLEDです。通話時間を過ぎると消灯します。

⑪個別スイッチ
個別呼び出しするときのスイッチです。

⑫ベルスイッチ
ベル機能を“ON／OFF”するスイッチです。

⑬スピーカー

RC-4011/4070 の 操 作 方 法

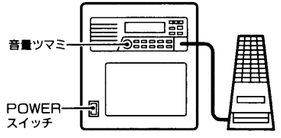
■電源の“ON/OFF”と音量調節のしかた

1 POWERスイッチの“ON”側を押すと、スイッチのLED(赤)が点灯して本機の電源が入ります。

※電源を切るときは、“OFF”側を押します。

2 電波を受信したときに、音量ツマミを回して聞きやすい音量に調節します。

※ツマミを右に回すと、音が大きくなります。



■個別呼び出しモードでの通話

指定した個別番号の相手だけを呼び出して通話するモードです。

1 他のモードになっているときは、個別スイッチを押して個別呼び出しモードにします。

●“ピッ”と鳴って、個別呼び出しモードの個別番号(右2桁)を表示します。

2 テンキーを2回押して、呼び出したい相手先の個別番号を設定します。

●テンキーを押すごとに“ピッ”と鳴って、個別番号を表示します。

3 マイクロホンの通話スイッチを1回押して、個別呼び出しをします。

●“ピッ”と鳴って、送信表示LEDが点灯(赤)します。

※相手局とつながると“ピロピッ”と鳴って、通話表示LED(黄)が点灯する

※つながらない(相手局が電源を切っている、または電波の届かない場所にいる)ときは“ブッ”と鳴る

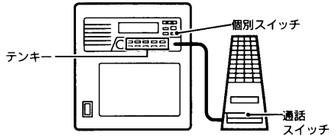
4 “ピロピッ”音を確認し、通話スイッチを押しながらマイクロホンに向かって、通話相手を呼び出します。

●送信表示LEDと通話表示LEDが点灯します。

5 呼び出しが終わったら、通話スイッチから指を離して受信状態に戻します。

●電波を受信すると相手の声が聞こえ、受信表示LED(緑)と通話表示LEDが点灯します。

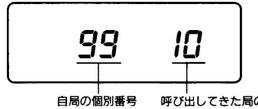
6 4~5の操作を繰り返して、交互に通話します。



個別呼び出しモードにしたときの表示

自局の個別番号　呼び出したい相手の個別番号

個別呼び出しを受けたときの表示



自局の個別番号　呼び出してきた局の個別番号

■グループ呼び出しモードでの通話

指定した10位桁の数字と同じ個別番号を持つグループの相手だけを呼び出して通話するモードです。

1 他のモードになっているときは、一斉 全/組スイッチを1または2回押してグループ呼び出しモードにします。

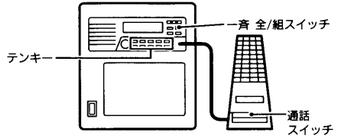
●スイッチを押すごとに“ピッ”と鳴って、グループ呼び出しモードのグループ番号(右2桁)を表示します。

2 テンキーを押して、呼び出したい相手局が加わっているグループ番号(個別番号の10位桁)を設定します。

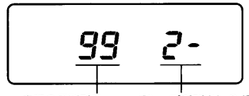
●テンキーを押すと“ピッ”と鳴って、グループ番号を表示します。

3 「個別呼び出しモードでの通話」の3~6にしたがって操作してください。

4 グループ呼び出しを受けると、呼び出し音が“ピロピッ”と鳴り、ディスプレイに呼び出しをかけた局の個別番号と、グループ呼び出しを表わすグループ番号“9-”が表示されます。
応答する必要のあるときは、マイクロホンの通話スイッチを押しながら応答してください。



グループ呼び出しモードにしたときの表示



自局の個別番号　グループ呼び出しのグループ番号
(例)20番台のグループを表わす

グループ呼び出しを受けたときの表示

呼び出してきた局の個別番号　グループ番号
(例)90番台のグループを表わす

■一斉呼び出しモードでの通話

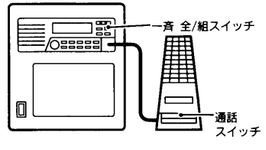
すべての局を一斉に呼び出して通話したり、通達事項だけを連絡することができます。

1 他のモードになっているときは、一斉 全/組スイッチを1または2回押して一斉呼び出しモードにします。

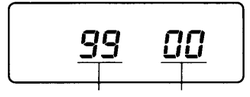
●スイッチを押すごとに“ピッ”と鳴って、一斉呼び出しモードの全体番号(右2桁)を表示します。

2 「個別呼び出しモードでの通話」の3~6にしたがって操作してください。

3 一斉呼び出しを受けると、呼び出し音が“ピロピッ”と鳴り、ディスプレイに呼び出しをかけた局の個別番号と、一斉呼び出しを表わす全体番号“00”が表示されます。
応答する必要のあるときは、マイクロホンの通話スイッチを押しながら応答してください。



一斉呼び出しモードにしたときの表示



■その他の機能

◆シークレット(秘話)機能について

シークレット機能を入れていない相手には雑音として聞こえるだけで、通話内容を聞き取ることができなくなりますので、他の人に聞かれたくないときには便利です。

1 シークレット機能を使用するときは、シークレットスイッチを押してシークレット機能を“ON”にします。

●“ピッ”と鳴って、シークレット機能表示(“H”)が点灯します。

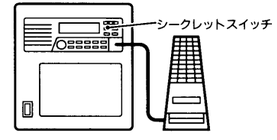
2 シークレット機能を使用しないときは、もう一度シークレットスイッチを押して“OFF”にします。

●“ピッ”と鳴って、シークレット機能表示(“H”)が消灯します。

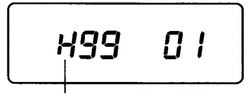
〈ご注意〉

①シークレット機能の“ON/OFF”が、システム内すべてのトランシーバーで合っていないと通話できませんのでご注意ください。

②機密を要する重要な通話に使うことはお薦めできません。
トランシーバー間の通話は電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。



シークレット機能を“ON”にしたときの表示



シークレット(秘話)機能表示

◆ベル機能について

電話のリンガー(呼び出し)音と同じようにベル音で通話相手を呼び出せるので、より確実に通話相手を呼び出せます。個別呼び出しモード以外と出荷時のIC-4011は、はたらきません。IC-4011でも使用したいときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 ベル機能を使用するときは、ベルスイッチを押してベル機能を“ON”にします。

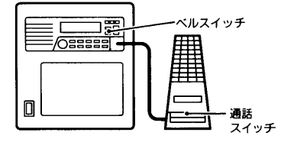
●“ピッ”と鳴って、ベル機能表示が点灯します。

2 ベル機能を使用しないときは、もう一度ベルスイッチを押して“OFF”にします。

●“ピッ”と鳴って、ベル機能表示が消灯します。

〈ご注意〉

①ベル機能で個別呼び出しをするときは、相手から応答があるまでマイクロホンの通話スイッチを押し続けてください。



ベル機能を“ON”にしたときの表示